

# 【観点Ⅳ】地域全体で子どもたちの成長を支えていく環境の整備

「コア会議」の開催により学校運営協議会を活性化する取組 別府市立別府西中学校（生徒数412名）

## 「コア会議」の立ち上げ・開催へ

課題を解決するために

## 別府西中の捉えるCSの課題

別府西中を考える会（西中コア会議）とは  
○西中に関わる全ての方を対象に、  
学校の教育目標達成のため知恵を出し合う会  
〈メンバー〉

・コアメンバー（主に校長・CS会長・地域学校協働本部長・PJリーダー）の他、保護者・CS委員、地域の方等西中に関わる方で参加を希望する方

- 地域に向けチラシ及び学校HPで募集
- 小回り利く運営（3人参加で会成立）  
校長がテーマを提案し、熟議する。  
（夢関連PJ・教員の働き方改革・学校課題等）
- 会議実績（R6年4月発足）  
コア会議18回＋拡大会議3回（11月末現在）  
拡大会議は3回累計37名の参加

- △協議のマンネリ化
- △小回りが利かない
- △家庭・地域の当事者意識
- △熟議に至らない
- △地域全体への浸透

別府西中「学校の教育目標」

コア会議開催により多様な意見を集約

## 別府を愛し、夢を持ち自ら学ぶ生徒の育成

地域の活性化  
（家庭・地域の願い）

将来の夢や目標をもてる生徒の育成  
（学校の願い）

「コア会議×学校運営協議会」  
で会を活性化し熟議へ高める

扱われた議題

1. 別府西「夢」関連プロジェクトについて
2. 生徒の心に火をつける地域人材の出し合いについて
3. 今後どんな西中になればよいか、地域とともにある学校にするためのアイデア

出された意見

- ・話を聞くだけの夢プロの講演はもったいない。タブレットなどで意見の交流をしては。
- ・ラクテンチ、竹細工、つけもの、カメラマン、と地域の人材はたくさんいる。
- ・職業にとらわれず、その人の生き方を伝えられるような人材を探すのがよい。
- ・生徒の地域応援隊をつくれないうか。
- ・地域とともに「ある」学校ではなく「歩む」学校と表現してほしい。
- ・コア会議に生徒を入れて話し合いたい。

第1回拡大西中コア会議(9/26)より

## CSで協議され実現した主な内容

コア会議で出された意見はCS内で協議

- 生徒の心に火をつける「夢」関連プロジェクト
  - ・心に火をつける「地域の先生」を紹介、集会形式での授業を実施。「夢プロ」
  - ・生徒が就きたい職業から著名人等を招き放課後等での交流を実施。「夢アカ」  
警察官、画家、消防士、薬剤師、現役東大生、アイドル弁護士、起業家、サファリ園長等メンバーのアイデアやつながり講師を発掘し、「夢プロ」「夢アカ」を実施。
  - ・生徒自身が夢や学習を考えるため月1-2回水曜午後を放課とし自学・活動。「夢タイム」
  - ・地域、塾と連携し、日曜日に学力を補うための希望者のための塾。「夢クラス」(予定)
- 地域とともにある学校にするためのアイデア
  - ・不登校等の課題を考えるため、教職員・保護者・地域対象の研修。「多様な学びの会」
  - ・地域貢献のための活動。「生徒ボランティア」「地域ボランティア」  
(清掃活動・行事スタッフ・交通安全運動・避難訓練スタッフ等)



拡大コア会議の様子



「夢アカ」の様子